

世界遺産センターのグリーン化等によるCO₂排出削減

(1) 事業の概要

世界遺産地域に対する気候変動の影響が国際的に懸念されており、各世界遺産地域において、早急に気候変動への適応策や緩和策をとることが求められているところである。

このため、世界遺産地域の管理の中心的施設である世界遺産センター等において、太陽光パネルや地熱ヒートポンプを導入するなど施設をグリーン化することによりCO₂排出量を削減するとともに、観察フィールドなど関連する施設整備を行う。

(2) 事業計画

世界遺産センターのグリーン化

<知床世界遺産>

知床世界遺産センター（太陽光パネル、地熱ヒートポンプ、雪室の導入、付帯駐車場の整備）

ルサフィールドハウス（太陽光パネル、観察フィールド整備）

<白神山地世界遺産>

白神山地世界遺産センター（太陽光パネルの導入）

<屋久島世界遺産>

屋久島世界遺産センター（展示照明のLED化、ペレットストーブの導入）

(3) 事業実施主体 環境省

(4) 予算額 243百万円

世界遺産センターのグリーン化等によるCO₂排出削減

知床世界遺産センター

- < グリーン化内容 >
- ・太陽光パネル設置
- ・地中熱ヒートポンプ
- ・雪室

- < 付帯駐車場整備 >
- センターを拠点とする
- 利用の増加



太陽光パネル(地上置き)

ルサフィールドハウス

- < グリーン化内容 >
- ・太陽光パネル設置

- < 観察フィールドの整備 >
- 海・川・森のつながりを実感できる
- 観察フィールド



太陽光パネル(地上置き)

知床世界遺産センター
北海道斜里郡斜里町

ルサフィールドハウス
北海道目梨郡羅臼町

白神山地世界遺産センター
青森県中津軽郡西目屋村

屋久島世界遺産センター
鹿児島県熊毛郡屋久島町



白神山地世界遺産センター

- < グリーン化内容 >
- ・太陽光パネル設置



太陽光パネル(地上置き)

屋久島世界遺産センター

- < グリーン化内容 >
- ・展示照明のLED化
- ・ペレットストーブ設置 等

展示照明のLED化



ペレットストーブ



CO₂排出量削減

環境意識の啓発

省エネ施設等の設置による
雇用の創出